

じへの抱負



14 番

山本宏治議員

合併して9年目のスタート。元 気な美咲町ですが、一部地域では 少子高齢化が進んでいます。現状 をよく考えて何が必要かを提案し ていくことが議会活動。 黄福物語 のストーリーがイエローカードに ならないように絆が大切だと思い ます。



15 番

岡田 壽副議長

近未来の地域に誰もが不安を感じています。多くの課題がありますが、移動手段の確立や基幹産業の農林業対策を要点に、安心して暮らせるまちづくりに努めます。 一方、開かれた信頼される議会に議員として頑張ります。



16 番

貝阿彌幸善議長

財政を圧迫している国民健康保 険税、介護保険料高騰の抑制、下 水道事業、光ファイバー事業への 加入促進、地域間格差是正、安全・ 安心なまちづくりを進めてまいり ます。



8 番

岩野正則議員

過疎、高齢化の進行で町内の地域の格差を痛感しています。

安心して生活していただくため に、皆さまの声を大切にします。

2期目は、議会改革、特に議員 活動の見える化、定数等の問題に 今まで以上に努力します。



9 番

金谷髙子議員

4年間美咲町を走りつづけてまいりました。その中で、感じたことは、地域格差、生活環境に対する声が多くあり、どこに住んでも安心・安全な町づくりを目指します。真心第一で美咲町の未来に責任ある政治に頑張ってまいります。



10 番

江原耕司議員

美咲町の顔は、役場53号線沿運動公園周囲の開発。少し予算もかかるが戻りのあることが1番と思う。常に執行部と町民の会話で町が元気になり、農工商働く場所、住める場所をつくり、人口の歯止めになるよう皆さま方の一層の協力、ご鞭撻願う。



審議 (初議会の様子)



3 番

左居喜次議員

まず、この場に立たせていただ いたことに感謝申し上げます。

私は、美咲町の課題に真摯に取り組み、町民皆さんの穏やかな生活環境の実現と特色ある地域産業の発展を図り、美咲の未来のために努めてまいります。



4 番

片山 剛議員

この度は、大変ありがとうございました。町長、各議員の皆さまと協力をし、町民の皆さまの声を大切に町政に反映するよう頑張ります。農業、福祉、教育の伸展に努めます。高齢者の安心で住みよいまちづくりに。



11 番 三船勝之議員

美咲町が合併して8年。行政課 題の多い中、第一に行政改革に取 り組み健全財政に取組。農林業を 守る政策。高齢者を守る政策。少 子化に対する取組。生徒の教育向 上への検討等々町民皆さまの声を 聞き、町政発展に取り組みます。



松島 啓議員

12 番

活力ある美咲町のために『町独 自の元気づくりシステムの構築』 『教育のまち美咲町の実現』『人口 激減対策の推進』を徹底的に研究 し、提案します。皆さまに信頼さ れ、品格ある議会に、日々勉強・ 日々向上で頑張ります。



13 番

下山和由議員

5期目の当選の栄を賜り光栄の 至りです。今日までの経験を生か し、公平な町政への目配り、町民 の代弁者として皆さまの声を議会 で反映させます。議会基本条例を もとに開かれた議会と他町村に負 けない議会活動に徹します。



5 延原正憲議員

社会・経済、さらに政治情勢ま でもが大きく変化している現在。

私たちが生活しているここ美咲 町を元気にするため、一生懸命頑 張る覚悟です。

みんなで考え、みんなで行動す るまちづくりに努力します。



6 形井 圓議員

皆さま方から受けたご恩を心に 深く刻み、地域住民の皆さま方の 声を聞かせていただき、皆さま方 の思いが行政に反映される、そし て住民の皆さまが主体の町づくり に、併せて心の通い合う町づくり に全力を注いでまいります。



松田英二議員

議会の果たすべき責務は、執行 部のチェック機関としての役割 と、住民が幸せになるための方策 を議論し、政策として立案する役 割が最も重要な要素になります。 10年後の町が進むべき将来像を 描きながら活動していきます。



林田 実議員

私は、地域の想い・町民の皆さ まの想いをかたちにすることが議 員の責任であると考えます。地域 の声・皆さまの声をよく聞かせて いただき、議員の責任を全うでき るよう頑張る所存です。今後とも、 ご指導いただきますようお願いし ます。



2

若者が定住できるように就職先 の確保や住居の見直しをし、子ど もたちが安心・安全に学校に行け るように、通学路の問題などを考 え、そして高齢者の介護保険や施 設などの利用、申請、手続きをし やすくできるようにしていきたい。



議会構成などを熱心に

※番号は議席番号です。 議場での座席の位置と同じ配置になっています。

最高の情報を表現

4月24日臨時議会が開催され、議長、副議長、各委員が選ばれた。

議長 貝阿彌幸善

副議長 岡田 壽

◎委員長 ○副委員長

			山本	宏	治					
			-	丛	仁	監査委員	<u> </u>	船船		,
	総	O 7	肜 井		圓	шндд		- /9H /4/	, ,c	_
	形心	9	亚 原	正	憲					
چنڊ	務	Ž	工 原	耕	司	業	0	延 原	正	憲
常	少	=	三船	勝	之	会	0	林 田		実
H		ļ	貝阿彌	幸	善	運		松 田	英	<u> </u>
任		○ ħ	公 島		啓	議会運営委員会		山本	宏	治
委	民		金谷	髙	子	員		松 島		啓
女	民生教育	│	体 田		実	五 二		下 山	和	由
員	育	1	小 林	達	夫					
只		2	上 居	喜	次	-34c	0	松 田	英	<u> </u>
会		0 -	下 山	和	由	議 特 会	0	金 谷	髙	子
	産		号 野	正	則	特 会 別 広		左 居	喜	次
	産業建設	ļ ,	† 山		剛	委 報 員 編		岸 山		剛
	設	 	公 田	英	<u> </u>	別委員会集		延 原	正	憲
		ļ lī	岡 田		壽			江 原	耕	司

各組合議会議員

◇津山地区農業共済事務組合

岡田 壽 岸山 剛

◇久米老人ホーム組合

小林 達夫 左居 喜次 形井 員 岩野 正則 松島 江原 耕司 啓

◇柵原吉井特別養護老人ホーム組合

延原 正憲 松田 英二 金谷 髙子 下山 和由

◇津山圏域西部衛生施設組合

左居 喜次 形井 員

◇勝英衛生施設組合

下山 和由 林田 実

◇津山圏域衛生処理組合

山本 宏治

◇森林林業活性化議員連盟(全議員+代表 1) 下山 和由

◇柵原、吉井、英田火葬場施設組合

片山 剛 延原 正憲 松田 英二

◇津山圏域消防組合

岩野 正則 松島 啓

◇津山広域事務組合

形井 員 林田 実

◇岡山県中部環境施設組合

貝阿彌幸善 下山 和由

◇津山圏域資源循環境施設組合

三船 勝之 貝阿彌幸善

- ◇岡山県広域水道企業団運営協議会委員 貝阿彌幸善
- ◇美咲町消防委員

小林 達夫 岸山 剛

江原 耕司

1日から

定例会が招集され、24 ど予算43件、条例17件、

どの議案が上程された。

3月18日まで

年度補正予算および25 年度一般会計当初予算な その他6件、要望2件な

条例 の制 定

おり。 た。主な内容は次のと 正が上程され、 結果全会一致で承認し 条例の制定・一部改 審議の

準を定める条例 び指定地域密着型介 型サービス事業者及 美咲町指定地域密着 **る基準を定める条例** 有の指定に関する基 予防サービス事業

美咲町町道の構造の 技術的基準を定める

型サービスの事業の

美咲町指定地域密着

に制定

どに関連し新たに 基準を定めるため

地域主権

一括法な

美咲町町道に設ける める条例 道路標識の寸法を定

に関する基準を定め

設備及び運営

美咲町営住宅等の整 美咲町布設工事監督 基準を定める条例

及び運営並びに指定

者が監督業務を行う

の事業の人員、

型介護予防サービス 美咲町指定地域密着

> サービスに係る介護 地域密着型介護予防 な支援の方法に関す 予防のための効果的 部を改正する条例 譲与・無償貸し付け 美咲町財産の交換・ び水道技術管理者の に布設工事監督者及 等に関する条例の 水道の布設工事並び 買格を定める条例

美咲町廃棄物の処理 例の一部を改正する 及び清掃に関する条

美咲町肉用牛導入車 美咲町営住宅管理条 例の一部を改正する

改正する条例 素基金条例の 部を

例の制定、見直しを行 の法改正に伴い町の条 これらの条例は、 玉

条例

譲渡、 り扱いの見直しのため 加入権の継承または 利用料などの取

させるため。 完成し、基金の目的を 全部の庁舎建設に対応 美咲町柵原総合支所 柵原総合支所庁舎が 庁舎建設基金条例の 部を改正する条例

原西保育園を新たな位 原保育園を廃止し、 統合移転したために藤 ◎美咲町保育条例の 柵原地域の保育園を 部を改正する条例 柵

○みさきネットの設置 例の全部を改正する 及び管理に関する条

を改正する条例

合性を図るため。

公共下水道条例との整 地方自治法、美咲町 に関する条例の一部 一設の設置及び管理

◎美咲町新型インフル

エンザ等対策本部条

うものである。

置に移転するため

原地域子育て支援セン ターを設置し、保育の ◎美咲町地域子育で支 柵原西保育園内に柵 援センター設置及び **「理に関する条例の** 部を改正する条例

等対策特別措置法に基

新型インフルエンザ

づき制定。

○美咲町農業集落排水

充実を図るため。

するもの。 せて歳入歳出を六千七

計ともに全会一致で可 承認。 般会計、 13特別会





補正予算

定による減額と基金 る。13特別会計は合わ 繰り戻し五千万円であ の。主なものは事業確 七万九千円とするも 額を百二十億四百三十 万三千円を減額し、 ら二億九千五百六十 般会計歳入歳出

百十三万四千円増額と

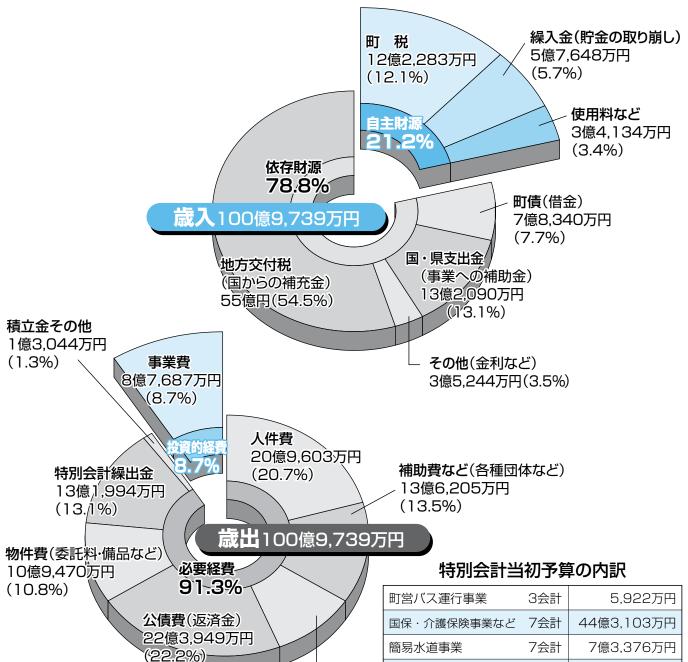
● 25年度当初予算

安心・安全に重点の予算

-般会計歳入歳出予算の内訳

前年度比4.5%減 一般会計 10 前年度比6.5%増 25特別会計 6

100億9,739万円 65億5,232万円



扶助費(子育て支援など) 9億7,787万円 (9.7%)

町営バス運行事業	3会計	5,922万円
国保・介護保険事業など	7会計	44億3,103万円
簡易水道事業	7会計	7億3,376万円
下水道事業	3会計	10億5,870万円
みさきネット事業		1億8,876万円
その他	4会計	8,085万円
25特別会計の合計	65億5,232万円	

今後の歳入減に 備えた財政運営を

予算特別委員会(3月12日・13日・14日)

町の現状は景気低迷により、
町民税など自主財源の増加が見
政めない。
平成27年度から地方交付税が
平成27年度から地方交付税が
不成27年度から地方交付税が
で歳入減少を視野に入れた財政
運営、予算執行、また、特別会
書き、予算執行、また、特別会
本が減少を視野に入れた財政
でまる。将来
でまる。
でまる。

を町債 税など。 前年度比 水道事業である。 高齢者医療、 国民健康保険、 ある。繰り出しの大きなものは、 にも上り、 繰出金は総額約十三億二千万円 百三十二万円。 比6・5%増の六十五: 円などである。 25特別会計の総額は、 度 (借金) 災害復旧事業に約二億 財源の不足は七億円強 4 財政硬直化の一 自主 ・5%減の百億九千 般会計当初 簡易水道事業、下 介護保険、 事業に約一 で埋めてい 財源と地 主な事業は旭 億五 いからい 前年度 方交付 、る。 因で 億

平成25年度一般会計当初予算

【歳入】

	 種 別	予算額	前年度比
	作生 かり	丁/异积	削平反儿
	町税	12億2,283万円	2.05%
<u> </u>	基金繰入金	5億7,648万円	▲ 9.16%
自主	繰越金	5,000万円	0%
土 財	使用料及び手数料	6,893万円	2.77%
源	諸収入	8,698万円	▲ 1.51%
1/2/5	分担金及び負担金	1億1,370万円	0.92%
	財産収入・寄付金	2,173万円	▲0.93%
	地方譲与税	1億7,194万円	▲3.59%
依	地方消費税交付金等	1億8,050万円	▲8.66%
存	国庫支出金	7億3,624万円	11.89%
財	県支出金	5億8,466万円	▲ 7.99%
源	町債	7億8,340万円	▲35.54%
	地方交付税	55億円	0%
	合 計	100億9,739万円	▲ 4.47%

【歳出】

	区分	予算額	前年度比
1	議会費	1億1,429万円	0.49%
2	総務費	10億2,866万円	▲3.3%
3	民生費	25億6,519万円	▲20.56%
4	衛生費	10億7,346万円	▲5.16%
5	労働費	1,700万円	0%
6	農林水産業費	7億1,568万円	6.38%
7	商工費	7,688万円	13.17%
8	土木費	8億8,849万円	24.98%
9	消防費	3億1,990万円	4.34%
10	教育費	7億9,490万円	16.62%
11	災害復旧費	2億 548万円	26.64%
12	公債費	22億3,949万円	▲5.07%
13	予備費	5,796万円	8.73%
	合 計	100億9,739万円	▲ 4.47%

主な質疑応答

【企画財政課】

積算根拠は。 改修事業1億円の 旭小学校大規模

で補正する。 だが、設計の段階 現段階では概算

問 扱いはどうなるか。 の公園、 うたのしも団地 条例に基づく助 集会所の

問 成金で対応する。 分譲地の未販売

分について販売努

【情報交通課

力を。 問い合わせはあ

ね合いもあり、 る。 住宅減税の兼 今後に

る可能性は。

接続率と今後伸び

みさきネットの

期待している。

35 %

インターネット

インターネットは

テレビが60%、

きたか。 で人件費は削減で 投票所の統廃合

因もある。

ド」所有者へ交

一おかやま愛力

は伸びが期待できる要

度削減できている。 約200万円程

のか。 納税を広げていく 今後もふるさと

はしない。 積極的な呼びかけ 出すなどしている ホームページに

千円分交付する。

(住民課)

咲町内居住者へ年間6 毎年申請が必要で、美 やま愛カード」である。

では。 るような事業をすべき づくりの目玉とな 人づくり・地域

きい。 校の改修事業が大 本年度は旭小学

いか。

金などの未納者へ

制限はないが税

にならないか。

何らかの制限はできな

'助で、高所得者に

少子化対策の補

詳細は。 県内に居住する65歳 主的に返納した岡 運転免許証を自

発行されるのが 以上の人の申請により おか するのか。

取り壊す。

商品券を贈る敬

の方が良いという 広域連合での運営 国民健康保険は

問 は支給していない。

付されるタクシー券の

家があるが、どう 町営住宅の空き

老朽化のため全

世帯退去となれば

【保健福祉課

する考えは。 老事業を他の形に

意見があり続けている。 現金より商品券

どの問題があり難しい。 率が異なることな 各市町村で収納

【旭総合支所】

えないのか。 国に維持してもら みち停あさひは

されているか。

計算上では24

るが、当初予算に反映

安くなったと聞いて

が購入する水の代金は

道と中央簡易水道

柵原北部簡易

で、 維持はしてもらえ 付金で建設したの 100%国の交

純に反映はしない。

前

破裂などもあり単 00万円安くなる

年度より少し下げて計

問 ない。 とは。 水力発電交付金

上している。

村への交付金で一般会 のあるダム周辺町 使用目的に制限

計の予算に入れている。

【産業観光課】 ピオーネの輸

出

送る。 先と輸出量は。 香港に約3トン

問 してのエッグデザ 観光推進事業と

は。 インコンテストの詳細

問

手数料の見直しは。

企業のゴミ処理

約30年前から変

【柵原総合支所】

ザインの具体化を依頼 療福祉大学の学生にデ インを募集し、 国から玉子のデザ 昨年と同様に全 川崎医

直しが必要。

わっておらず、

見



【上下水道環境課】

の予定数は。 合併浄化槽補助

する。

特選受賞作品に

7人槽=36基。 5人槽=5基。 10

に置いている。

ついては亀甲駅前など

人槽=4基

(建設課)

問 できるか。 いつごろから着工 災害復旧工事は

以降になる。 が、それ以外は25年度 中に着工できる ため池 約1割は24年度 斉点検

の詳細は

所 中央=109カ所。 =11カ所。 め池を一斉調査する。 え2ha以上の受益のた 事業で、 全額国庫補助の 柵原=89カ 地震に備 旭

【健康増進課】 ほほえみの湯の

か。 運営に問題はない

【生涯学習課】

協議している。 しての施設利用を 健康をアピール

が、

マラソンが復活す

を申請すると聞く

マラソンコース

るのか。

問 を強化できないか。 在宅介護の支援

毎月9千円の助成をし る非課税世帯を対象に 在宅介護をしてい 要介護3以上で

新する。

いように5年に1回更

が、

公認が切れな

復活ではない

いない。 ているが、 れ以上のことは考えて 現状ではそ

【教育総務課

くが問題はないか。 基準が人数割と聞 学校図書の算定

要な図書を補充した。 入時に各校を調査し必 改修事業の内容は。 だが、富田基金導 予算上は人数割 旭小学校大規模

協議しながら進めたい。 床、天井など関係者と 都合を解消するため、 の予定。現状の不 夏休みから着工

豐

낁

ただきます。 敬称は省略させてい

お願い 候補地美咲町西地区 岡山県メガソーラー の発電事業者認定の

総務常任委員会付託 株式会社

代表取締役 ガット (津山市山北

自然エネルギー普及

る要望である。 町内の活性化に貢献し 電収入の1%)を行い、 株式会社ガット名義と して、町への寄付(売 者としての認定を求め なっており、発電事業 たい。当該候補地が、 や青少年育成の一助と

致で 継続審査 とした。 込みがあったが、 の公表がなく、 岡山県へ1社の申し 全会一 社名

等の要望 生活支援事業補助金

付託 「産業建設常任委員会 久米郡商工会

20年も経ったら傷むわなぁ

営支援と買い物弱者支 小規模事業者への経 会長 西本和馬

> び補助金交付要綱など 費補助の予算措置およ 援事業推進のため である。 の制度化を求める要望 の経

問題で、 で採択とした。 な事業であり全会一致 直面している身近 今後も不可欠 な

議員発議

森林整備等に係る財源の確保を求 地球温暖化対策を推進するための める意見書

吸収源対策を位置付け、 を確保するための措置を講じる必要がある。 における地球温暖化対策の実行に必要な財源 地球温暖化対策のための税」 地球温暖化対策を着実に進める観点から 森林・林業・林産業 の使途に森林

対して送付した。 この内容を強く求める意見書を日本政府に

美咲町議会委員会条例の一 正する条例 部を改

地方自治法の改正に伴う一部改正



平成24年度美咲町 第7号)

総務常任委員会報告

利便性向上

総務常任委員会に付 条例 査とした。

託を受けた予算、



認した。要望は継続審 した結果、全議案を承

i j

【企画財政課】

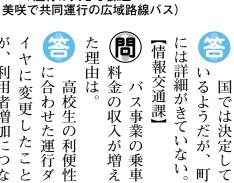
の詳細は。

国の補助金事業

廃止の協議はしていな

設置であり、まだ

久米南町と共同



た理由は。 料金の収入が増え バス事業の乗車

がったと考える。 イヤに変更したこと 利用者増加につな に合わせた運行ダ *デマンドバスの

美作、

(赤磐、

路線バスの運行は大きな課題

高校生の利便性

下市 ⇔ звая·林野駅



■主な質疑応答

(総務課)

B 公社負担金につい 久米郡土地開発

いか。 て、 会計を廃止できな

が、

問 (税務課)

徐々にではある 進んでいる。

民生教育常任委員会報告

示していく。 はできているか。 税金の滞納整理

※デマンド方式 応して運行する形 利用者の要求に対

十三万九千円の内容は

10

態

旭小学校改修前に 一分な調査を

件について審議した結 に付託を受けた予算6 民生教育常任委員会

町

果、全議案を承認した。

問 【健康増進課】

推進調查事業百三

|主な質疑応答

地域福祉事業等

備事業とは。 地域福祉広場整

できるような提案をし 点から休憩室で体操が

また、健康増進の観

している。

ール場などの整備 地区のゲート ボ





改修が待たれる旭小学校

いるか。

助する。24年度は2件 費を上限20万円まで補 の申請があった。

万円の詳細は

業交付金二千四百

緊急雇用創出事

産業建設常任委員会報告

接続率の

する。

度末から供用開始

していきたい。

駆除

班

実施隊の体制整備

藤原地区が24年

向上対策を

聞くが、主な原因は。

道で漏水が多いと

る。

柵原北部簡易水

からの経験が必要にな 員の資格には免許取得

【保健福祉課】 介護保険事業特

の人件費と委託料

保育士の人件

雇用創出事業で

は。 別会計予算の現状 基盤整備、 施設

> 費にあてる。 であり、

(教育総務課)

わせはできているか。 の通園路の申し合 柵原地域保育園

継続雇用はできない事

入分の人件費。ただし、

業で学校支援員6

緊急雇用創出事

認、要望は採択とした。 算などは全議案を承 いて審議した結果、予

国などから二千五百万

円を借り入れる。

(住民課)

者の増加などで介護給

百八十万円の内容

教育支援事業九

ど9件、

要望1件につ

【上下水道環境課】

事業の進捗状況は。 柵原公共下水道

にも問題がある。

(建設課)

【産業観光課】

したり、古い工法など による管の伸縮で破裂

漏水が多く、水温

変更はあるか。

変更はない。

得補償制度の名称

25年度、

戸別

所

接続箇所からの

問

取り組みは。

状況は。

結婚推進事業の

点検事業での点検

道路ストック総

ごまつりの時に実

ル

(火之谷隧道・

24年度は、

たま

2カ所のトンネ

に付託を受けた予算な

■主な質疑応答

産業建設常任委員会

整備の充実や認定

付費が急増している。

は。

を重ね決定してい 保護者との協議

五万円の内容は。

(町道滝谷線)

の未婚女性への募集な との相談会や町内在住 施した。25年度は両親

理する。

検し、必要があれば修

大戸山トンネル)を点

どもしたい。

の販売は。

米粉ジェラー

ŀ

◇現地を確認

致事業の増額四十

外国青年招待招

▽現地を確認

H25.2末現在

火葬场使用状况		(件)
町内		町外
中央	97	68
柵原、吉井、英田	80	76

地盤などを十分に調査

後の活動は。

みさきか

助金の実績とその

狩猟免許取得補

25年度も募集する。

24年度は10人。

着工するよう意見

埋立地であるため、

況 は。

火葬場の使用状

の旅費の追加分。

外国人指導助手

る。

問

火葬場使用状況		(件)
	町内	町外
中央	97	68
原、吉井、英田	80	76

議案審議に関連し

道路線の認定について視察

ばの館で販売方法

美咲物産とまき

て、

飯岡地区町道滝谷

議案審議に

関

連

月頃から販売したい。 を検討中であるが、4

大規模改修が予定

況	(件)
内	町外
97	68

されている旭小学校を





般

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から 町政について質問する

池本建設課長 災害の件数は次

状況は。 被害が発生した。 災害復旧工事の進捗

雨で農地などに甚大な 道された7月の集中豪

梅雨前線、

全国報



下山和由 議員

災害復旧を急げ

3月末までにすべての 工事を発注する



のとおり。 (件)

			,
	入札済	3月末 入 札	繰越分
公共土木	68	80	139
農地災害	94	40	114
水路・農道	33	20	47

農繁期を控えて

され、

不便を強いられ

ている。

途中で工事が中断

修が行われている

民へのあいさつ、

細か

な説明などもお願いし

画を進める上で周辺住

置し、庁舎内の電力供

出を依頼している。

計 提

ラー発電設備を設

庁舎屋上にソー

定本町長

町へ計画書の

積極的に町道改

ている住民がいる。

緊

継続的に実施を

いる農家など不安 る場合もあり、 急車両通行の妨げとな も関わってくる問題で 人命に

復旧を望む。

を抱えている。

に取り組んでいきたい。 業者とも協議し前向き 着工予定を説明する。 入札後、農家へ

池本建設課長

進出すると聞くが、 町内進出企業 養鶏場を予定す 、の対応は

辺住民の理解は得られ ているか。また、鳥イ ついてはどうか ンフル・病害虫対策に る企業が旭地域へ 周

できないと聞いている。 なくし人や鳥獣が浸入 し、養鶏施設は窓を 一般車両の進入を禁

業実施を望む。 完成まで継続的な事 池本建設課長



があり、 用地買収の問題 解決できない

くことになる。

ての協定を交わして

場合は保留になること 問題が解決で 整備していき

災害はこりごりです(原田地内町道長原線)

がある。

の対応と町へのメリ

置の誘致で企業

き次第、

トは。

に1件申し入れがあ についてメガソーラー 設置の公募をし西地 岡山 定本町長 2カ所の町 県が審査中 有 地

料の収入、固定資産税休地の有効利用、借地 ある。 考えられる。 額が上がることなどが メリットとして、 地遊

給はできないか。 赤堀上下水道課長

らゆる面からの検 管理費、 られる電力量など、 初期費用、 耐用年数、 維持 得

赤堀上下水道課 公害防止につ 具体的に話が進 15

メガソーラー設





災害に備え あらゆる対策を

防災計画を充実させ 対応していく





角南憲 議員

や特殊性は加味されて いるか。 か。また、 ,見直 地域防災計画の しはできた 地域の要望

難波総務課長

するのは難しく、 地域の特殊事情に対応 災会議に諮る予定だが、 度も修正を継続する。 切りはつけるが、25年 3月をめどに一定の区 だ修正中である。25年 を行うが、岡山県がま 画修正に合わせて修正 住民の意見を聞き防 岡山県の防災計 町 全

織で対応してほしい。 っている。自主防災組 体に共通する内容にな 定本町長

でと考えている。 第1次避難を自助共助 が把握している。まず な避難場所は地元住民 第2次避難を公助 地域で最も安全

は。 また、救援物資の備蓄 が、十分機能するのか。 設を指定している 避難所に公共施



難波総務課長 避難場所は、

ーに改善したい。 できるだけバリアフリ ば可能である。施設は、 間施設でも条件が揃え しや流通備蓄が救援物 防災計画では炊き出 民

> と備蓄も必要と考える。 池などの改修で受 農地災害、ため

益者負担率を下げる考

池本建設課長

えは。

の状況も見て検討した る市町村が多く、近隣 金はない。両方徴収す 担率だが、施設の負担 農地は5%の負

定本町長

時から受益者が減少し ため池は建設当

実態は。



難波総務課長

%の給与カットを加味 国の平均7・8

だが、 すると25年度は10

もあり、検討を続けて でなく防災的なため池 ている。水利目的だけ いきたい。

3・1となる。

定本町長

職員の手当につ

が、広域災害を想定する 資の基本となっている

どう守るか

いきたい。

査し、慎重に検討して いては、近隣町村を調

問 町職員の手当に国から 制約があるそうだが、 レス指数は。また、 本町の*ラスパイ

るが、本町の削減額は。

減が決定されてい

地方交付税の削

24年度は95・3 通し。 差し引いて、二千七百 万円程度減額となる見 遠藤企画財政課長 増と減の要因を

下げられるが年金生活 間で2・5%引き 国民年金が3年

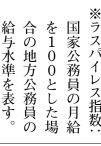
者をどう支援するのか。 定本町長

公的には補助

るような施策に取り組 とし、生活が豊かにな 全のまちづくりを基本 できないが、安心・安 が

改修工事が進む杉ヶ藤池(藤田上)

※ラスパイレス指数 を100とした場 国家公務員の月給 給与水準を表す。 合の地方公務員の



岡田 壽 議員

急げ 移動手段の確保

課題は多いが 積極的に取り組む



問

理的条件や高

うが。 早急な対応が必要と思 体化は進んでいるか。 手段の確保、 ンケートの結果と移動 の整備が必要である。 ている人への移動手段 24年度に実施したア 通院、 などで買い 通学に困っ 支援の具

域の320世帯を対象 鈴鹿情報交通課長 24年11月に旭地

施予定。 だが、 ていない。25年度は、 たため、 交通省と共同で実施し 調査を実施した。 態についてアンケート に不便な地域の移動実 柵原地域でも実 結果はまだ届い 3月公表予定 国土

的な課題も多い。 視野に入れ、検討する。 で利用する移動手段も 地域が多い本町では法 圧迫につながり、 運行すると民間業者の タクシーを乗り合い 不便 る。

計画する。 ケート結果が出てから 実施については、 アン

の点検と整備を早急に がら各家庭への進入路 車両が大型化してい 団などの協力を得な 自主防災組織、 の装備が充実し、 救急車、消防車 消

行政が無料でバスを

村島健康増進課長 小山地区 (旭地

自宅まで救急車 が入れない を機に、 地域で救急車の進入が 力で調査を行った。 0)

チェリーバスまで乗せてくださ〜い‼

た。 困難な家は78件であっ 小地域ケア会議 民生委員の協 旭

たい。 調査に取り組んでいき 今後は、 町内全域で

備事業で対応している。 金が必要。毎年10件程 する事業で1割の負扣 の整備には生活道路整 道幅を3m 池本建設課長 各家庭の進入路 前後に整備

定本町長

の拡大を図りたい。 る。ピオーネなどの園 芸作物を奨励し、販路

こと。中山間地域等直 事業で毎年多少の変更 業などは5年間の継続 保全管理支払交付金事 林業補助政策について 度の変更があるとの 矢木産業観光課長 25年度以降、 農地・水 農 題は。 ら交付税が る。 りを基本に、 予算編成とした。 る。 定本町 起債

度申請があり、 の改善に努めてい 進入路 る。

いる。

変わるのか

業政策の基礎

であ

り

人・農地プランは農

農林水産省も継続実施

する予定であ

る。

プラ

区

される。 問 考えられる施策と町の 対応を問う。 施策の変更が懸念 政権交代で農業 国の通達から

年間が計画推進期間で ランは24・25年度の2 ある。本町の状況は。 基盤となる人・農地プ また、地域づくりの

り、

力を入れたい。

25年度の課題

は

は農業政策の基礎であ

人と農地の問題解

決

できない。

と支援を受けることが 25年度中に策定しな で策定されているが ンは24年度中に10地

の農林業施策だと感じ 小規模農家の切り捨て 政権交代により 問 に

25年度予算編 成

おける町政の課

来の町財政を見据 力有利なものとし、 合併後11 (借金) 減額 年目 ざれ も極 えたた 将

着した施策を取り入れ 人・地域・ 生活に密 健 康づく はあるが、

各地域でそ

都度説明会を行って

啓 議員 松島

(人) H25.1

末

6,944

2,875

5,976

15,795

のとお

人口減少の歯止めには 思いきった施策を

産業振興など 研究した

いか。

⑤町内には、

都

〇の創設に支援できな

④新産業の創出、

N P



問

町の

人口

遠藤企画財政課長

近隣市町で運営し

雇

用の確保

整備は急務であるが、 雇用の確保、 歯止めには、 具体策は。 た施策が必要。 は。 ② 人 口 ③農林業と 思いきっ 住環境の 1減少の

材募集をできないか。 住宅を組み合わせて人 行い、人口が流出しな 職業相談・紹介事業を いよう努力している。 ている広域事務組合で 住環境の整備は、下

金などで行っている。 太陽光発電の設置補助 水道整備、合併浄化槽、

え研究したい。 需要とのバランスを考 の分譲地は、 ⑤風光明媚な場所へ 利便性と

矢木産業観光課長

うか。

髙田住民課長

①人口推移は次

地として利用してはど

場所が多くあり、

分譲

会にはない風光明媚な

いは、 を組み合わせての販売 農地法により難し ③農林業と住宅

いる。 は、ニューピオーネを 香港などに試験輸出し 4 販路拡大を考えて 新 産業 0) 創 出で

美咲町の人口推移

H23.4

7,023

2,970

6,123

16,116

H24.4

6,991

2,920

6,068

15,979

3地域の施策 バランスは 取れているか

表 1

H21.4

7,134

3,126

6,310

16,570

H22.4

7,058

3,051

6,222

16,331

地域名

中央

旭

柵原

て8年。 美咲町が誕生し 自主財源



ますます広がる地域の交流 (第2回みさき町民大運動会)

特定健診の受診率を向 操の普及を行う。また、 館の展開、 として、 上させたい。 ※ワークショップ 本年度は、 加者自ら体験し コロ コロバン体 バン公民 介護予防 な

民サービスの維持 は取れているか。 と察する。 の乏しい本町では 上は容易ではなか この4年間で、 で ード・ソフト Ō 施策バ ラ ンス っ. た 向 住 3 面 地

後の課題・取り組みは。 合併効果の検証と今 定本町長

表2のとおり。 道路事業の内訳は ハード 面とし

してきた。また、イベ 積割りで交付金を配分 まちづくり事業を推 ソフト面では、 世帯、人口、 協働 面 れる。

進し、

とした財政計画を作成 交付税も大きく減額さ がなくなり、 の削減が大き ランスを取っている。 ント開催も3地域でバ 27年から、 合併効果は、 国からの しっかり 合併特例 人件費

表2 道路事業の内訳

(21~24年度)

	(21, 244度)					
地域名	件数	事 業 費				
中央	216	6億9,440万円				
旭	124	4億 346万円				
柵原	194	6億3,672万円				

若年層から高

健康づくり

には中・長期

の計画

は 計画と本年度の具体 健康づくりの中・長期 町の最重要課題である。 者までの健康は、

活習慣病の まざまな施策を行っ 康増進事業として、 村島健康増進課 子育て支援、 依然として生 健 さ

る。

決に取り組む講 がら学びや問題解



就学前児童の 全員受け入れを

できる限り 受け入れている





日神山定茂 議員

という要件があるが、 保育に欠ける 保育園入園には

る。就学前の児童を持 心配している家庭もあ つ保護者が安心できる (園体制はとれないか。 髙田住民課長

その要件に該当せず、

る限り入園できるよ っている。 欠けない」児童もでき 園がないため、「保育に 保護者の相談に乗 本町には、幼稚

ある。

稚園が保育園に移 合併前後から幼

のように行っているの る。就学前の教育はど 行した。集団教育の第 大変重要な時期であ 一歩として、幼児には

髙田住民課長

るための発達の援助で がより豊かに展開され 健やかに成長し、活動 る。保育とは子どもが 図るための援助であ の保持、情緒の安定を 育とは、子どもの生命 という特性がある。保 と教育を一体的に行う 保育園には保育

自立心を高め、さまざ 主協調の態度を養い、 ませる時期である。自 意欲や期待に胸を膨ら 年長組は、就学への

がら就学へ向けて準備 係機関と連携を取りな な教育をしている。 まな経験ができるよう

土曜日の 新たな活用は

している。

問 どを目的に学校週5日 で社会体験や自然体験 を増やし、 の機会を増やすことな 地域で過ごす時間 子どもが家庭や ゆとりの中

の4時間授業を文部科

達成されていないよう 制が導入された。その 念され、当初の目的が 反面、学力の低下が懸

関

学校もある。 活用が試行されている 通達があったと聞 育委員会から市町村へ 全国には、 本町の対応は。 泉教育長 岡山県教 土曜日の <

かつての土曜日 1年かけ、 子を作成中である。約 説したわかりやすい冊 えている。 会を利用して周知して 分別方法について解



保育園は楽しいな (中央かめっこ保育園)

向けて検討したい。 的に考え、学力向上に 時間などの問題を総合 通学手段、職員の授業 うわけではない。給食 学省が認めていると

ごみの分別は 大丈夫か

る。 問 かかることも予測され いや慣れるまで時間が に町民に周知するのか。 性があるが、どのよう 分別が複雑になる可能 ーが稼働する。ゴミの 分別方法などに戸惑 新クリーンセンタ 27年12月には、

方法にはならないと考 端に変わるような分別 赤堀上下水道課長 現在と比べ、 極

問

先機関である岡

|土交通省の出

Щ

事務所には、

の名目で出動するとい

接連絡をすれば訓練

自衛隊からは、

ある。

なるというメリット な機材の調達が可能に 災害を防ぐために必要

が

る。

町長の決意は。

河川

定本町長

国との連携による 安全の確保策は

災害対策本部の 協議により決定する



土交通省中国 美咲町では、

地

元の自主防災組織や

機材を活用する場合、

くるのか。 どのような利点が出て 協定書」を締結した。 ける情報交換に関する 整備局と「災害時にお を結ぶことで本町には 国の直轄機関と協定 地方 玉



議員

松田英

ている。

消防団などとはどのよ

うに連携していくのか。 難波総務課長

がとれる体制を整えて 協議し、速やかに連絡 災害対策本部において 庁内に設置する

により水道施設に大き 成 旧栅 10年の10号台風 原 町は、 平

難波総務課長

災害発生時の初

断を迫られることにな ざまな場面で難しい判 活動の派遣要請を行 をもって自衛隊に給水 時の町長は瞬時の判断 な被害を被ったが、 行政の首長は、 さま

受けることができる。 地情報連絡員の派遣を

協定の締結により、

制を取ることを目的 交換が相互に行える体 期段階から綿密な情報

国土交通省から現

ポンプ車両が配備され させる能力を持つ排水 間に30トンの水を排出 河川が氾濫した時に になる。 う確認を取ってい

洪水時

大雨によって洪水

対策本部の中で必要な 体制を組んでいくこと ずれにしても災害 る。 樋門を閉じることで内 ための排水ポンプ場の 水被害が発生する。 などに設置されている が発生した時、 この内水を排除する

ĴΪ

いるか。

整備予定はどうなって

現在進めている下水 上下水道課長 森廣柵原総合支所

内水排除対策に 台風などによる 早期着手を

作業エリアとして 4.5m×長さ 20m 程度必要 排水ホース か200 排水ポンプ車 排水ポンプ

排水ポンプ車 (30㎡/min)

堤 防

排水ポンプ車運用図(中国地方整備局より提供)

か。 別事業で実施する。 金はどう考えているの ートを調整しな 場は美作岡 飯岡地区の排水ポ 対する地 排水施設建設に 元の負担 Щ 道路 が

ため地元負担金は免除 が利用する施設である 定本町長 不特定多数 0)

設計 水ポンプ場を整備する。 原地区と久木地 道事業で柵 地区の整備を計画する。 藤原地区は25年度に 清水柵原総合支所 26~27年度で工事 こと用地 こののち久木 原 確保を行 地 区に排 域の

26年度から事業着 産業建設課長

るが、 塚角地区、 度は未定である。 排水ポンプ場を整備す 原地域の大戸 地域総合整備事業で柵 する予定の県営中山 具体的な着工 下地 下地区に 区

出水場所

計画的な介護施設の 充実を図れ

質問

3年ごとに計画を 立て進めている





久米郡地域新町建 3町合併に伴う

る 画である。基本構想に、 祉の充実をうたってい 高齢者福祉と障害者福 の10年間で行う長期計

う盛り込むのか。 く。施設の充実につい 人がかなりいると聞 人、入所を待っている 施設に入所が必要な ているが、実際に介護 介護予防に力を入れ 振興計画の中にど 問

設計画は、26年度まで 貝阿彌幸善 議員 央地域の認知症グルー 24年度から26年度は中 活を持続していくかを プホームに9床増床、 っている。 テーマに施設整備を行 れた地域で、いかに生 3年ごとの計画で、 福田保健福祉課長 高齢者が住みな

数、 る。 地域のニーズなどをも 介護認定者の見込み 高齢化率、人口推計、 現在の給付状況、

性を生かして介護福祉 を立てていきたい。 とに27年度からの計画 正で、地方が独自 地域一括法の改

るのでは。 施設などの充実ができ

という予定で進めてい

柵原地域の認知症グル

プホームに9床増床

定本町長

計に法定外繰入は一切 在の保険料になってい できず、基金もなく現 したいが、介護保険会 町の独自性を出

るが、充実しているか 介護施設は充実してい 人口規模に対して、



ますます重要性を増す介護施設(あさひが丘)

を作成しているが、

長

期的な推計はできて

間の収支見通しについ

て財政運営適正化計画

ない。

らこそ保険料も高いと いう状況にある。

維持費の財政 見通しは

想するという結果であ 自治体が財源不足を予 た調査では、8割強の 国自治体を対象に行っ の財源について全 インフラ維持費

込まれている。 年々増加すると想定し かなりの財源不足が見 債や補助金が入らず ている。維持費には起 過しており、 など、相当な年数が経 町道、 維持費は 町有施設

必要な橋もある。 激しく、早急な対応が 立の考えは。老朽化が いなら、 財源確保が難し 基金の積

定本町長

助金に期待している。 助金が出るが、補修に につながる事業への補 は出ない。減災と防災 物を作る時は補

遠藤企画財政課長

県の指導で5.

年

きているか。

物施設などの維持費に

道路、

橋りょう、

建

ついて今後の推計がで

なる。

申請中で

全戸の簡易水道加入

認可を得ることができ

厚生労働省の

れば国庫補助の事業と

である。簡易水道への み、早急な対応が必要



杉山旭総合支所長

山村振興等農林

上水道事業に向けた 取り組みは

移行に備え 事業を計画中



問 29年度から上水

ているのでは。 施設管理が難しくなっ は。高齢化などにより 水施設6カ所の状況 旭地域の小規模給 道事業に移行する



山本宏治 議員

い、協力を呼びかける。 度は地元調整など行 ない事業である。25年 が実現しなければでき

る。

修繕が多く、また

阅

柵原北部、

柵 原

中央北部簡易水道をつ

央簡易水道施設があ

なぐ予定。

えを聞きたい。 上下水道課長

長年使用している飯 森廣柵原総合支所

作成中。 補助対象になりにくい から上水道になること しい状況だが、29年度 事業であることなど厳 に向けて、 統合計画を

朽化施設についての考

地域についても老 柵原地域、

中央

赤堀上下水道課長

中央簡易水道と



り、いずれも地元管理。 装置のみの施設があ 共同井戸水の滅菌処理 速ろ過する処理施設、

管理者の高齢化が進

処理施設、 した。

伏流水を急

業特別対策事業で整備

滅菌装置のみの

地元管理は大変だぁ〜 (北地区水道施設)

緊急通報システム、J くが状況は。 た、不備があったと聞 アラートの概要は。 安心・安全のための 難波総務課長

ま

攻撃事態が発生した際 法に基づき整備され トと呼ばれ、 ステム、 大規模災害や武力 通信衛星を利用し 全国瞬時警報シ 通称Jアラー 国民保護

事の緊急通報 システムに 不安はないか

より、 がある。 陥るかもしれない不安 さまざまな問題に いつ緊急事態に 日本を取り巻く

報については、 された。一刻を争う通 みさきネットを自動起 の通報を受信後、 能になるように法改正 所のみ設置している。 病院などでも受信が可 各省庁、公立学校、 国から ·1 力 直接

ている。 定本町長

改良できるよう要望し

れる予定である。 済対策として予算化 25年度の緊急経 システムである。 公共団体などに伝える 要な情報を瞬時に地方 国民保護の ため

いる。 ど今後の課題となって なかった町村があるな 発生したり、 部の地域で誤報 伝達され

程度に位置しており、

国でも岡山県内でも中

水道料金は、

全

定本町長

の改定は。

今後、

水道料金

値下げは難しい。

は。 また、学校への設置 置してあるか。 本町のどこに設

動させて流す仕組みに 難波総務課長 役場本庁の

みさきか

質問

町道改良の 早期完了を

側溝整備や舗装で 対応を進める



江原耕司 議員



成しているが、その前 まである。 後の工事は未完成のま ロほどは拡幅工事が完 線の岐路から1キ

所はできないか。 理なら何カ所かの待避 ないか。拡幅工事が無 くが、早急に実現でき 工事予定はあると聞

池本建設課長

点部については、川や 工事ができている。 度防災工事および拡幅 分については1キロ程 小野線の中間部 起

越尾長万寺小野

る。 し、必要があれば水を 容をもとに、現地確認 てもらう。シートの内 抜くようにお願いもす

ている。 視確認で修理、 備委託や職員による目 橋は255橋あり、 町内にかかっている 点検し 整

問 池本建設課長 などでできないか。 国の社会資本整 国の緊急対策費

である。 と舗装で対応する予定 費の関係で遅れている。 ついては、側溝の整備 今後、前後の道路に 画

民家などがあり、工事

の点検はできているか 点検、特にため池 町内施設の防災

池本建設課長

記入し、役場に返送し が必要な用水路などを 水や危険な場所、 シートを発送する。漏 管理者に、ため池管理 5月にため池の 修理

問 る予算はいつ頃つくの イレの設置に関す 古代住居跡のト

関前の亀橋付近に街灯 また、中央中学校玄

備総合交付金事業によ

行う。 般のトンネルやのり の事業の中で、町内全 り点検を実施する。そ 舗装の点検などを

問 など進んでいるか。 ついては用地交渉 小原の瓜畝線に

池本建設課長

買収、工事などに取り 説明し、協力をお願い 関係住民に全体計画を かかる。 する。25年度から用地 まず、全路線

各種施設の 整備状況に ついて問う

要望している。 のめどはついたか。 桑元教育総務課長 ール整備の補助金 県を通じて国に 加美小学校のプ

に整備していく。 歩道、

街灯の順番

か。 の設置が必要ではない

きれば25年度補正予算 で対応を考えている。 用対効果を検討し、 来年着工を考えている。 トイレについては、 に橋は 定本町長 加美小プールは 過疎債を使 費 で

雇用につながる

設はできないか。 カ所に集めたような施 テナントを募集し、 けごはんなど飲食店の 拡充し、たまごか 物産センターを 1



あり、 や駐車場の問題などが ことは確かだが、 手狭になっている 即答できない。 立地条件も 敷地 良



生きがい対策にもなっている物産センター (原田)

局齢者への施策は 拡充できたか

安心生活創造事業を 心に取り組んでいる



林田 実 議員

問 に置いた施策の重要性 属する。 高齢者を念頭 が岡山県では高い方に 齢化が進み、高齢化率 届いた町である。 てには大変環境の行き しかし、一方では高 策を展開し、 本町は独自の施 子育

高齢者施策でどのよう なことが拡充できたか。 4年間を振り返り、 定本町長

が増している。

やま愛カード所持者へ 補填バスの運行、 宇野バス減便の おか

生活支援サポーター

事業。 ど交通に関する支援。 のタクシー券の交付な コロバン体操の普 無料検診など予防

活できるような体制づ

者が地域で安心して生

実施してきた。 齢者にも手厚い施策を た地域包括支援センタ め、元来1カ所であっ やすい環境をつくるた や病気について相談し げる施策。また、介護 で高齢者の参加を促 支所へ設けるなど、高 ーのサブセンターを各 地域での小ケア会議 地域活性化につな

業は21年度から国のモ デル事業で取り組んで 村島健康増進課長 安心生活創造事

> 守りの協力を依頼し、 町内各種団体に、日常 お願いしている。また、 守りなどの巡回訪問を 美咲町見守りネットワ の事業活動の中での見 ークを立ち上げている。 住民との連携で高齢

そのためには予防事業 くことが理想である。 健康で元気に老いてい

長く健康で 元気にいられる ために

けて通れないが、 高齢化社会は避



健康で元気に暮らそう! (コロバン公民館)

場でそれぞれ14回コロ 標にしている。 を運営できることを目 では、自分たちで教室 の向上を目標に、後半 バン公民館として開催 な会場で開催し、どん した。前半は運動機能 24年度は、 25年度は、さらに別 町内6

の必要性、 めて問われる。 が改

を養成し、各地域で見

きたい。

くりを今後も進めてい

持つことができた。 果があるものと確信を さまざまな面で良い効 とした表情が見えた。 コロバン体操の視察 今後、介護予防事業 参加者の生き生き

の新たな構想はあるか。 村島健康増進課長

どのメニューも取り入 れている。 唾液腺のマッサージな 口の体操、健康体操、 の普及に努めている。 気に過ごすことを目的 に美咲流コロバン体操 足腰を鍛えて元

どん実践者を増やして

いきたい。



条例制定の成果は 見られたか

問題が多いが前向きに 取り組んでいる



問 家等の適正管理に関す 制定された 24年6月 パ議会で 一空き



岩野正則 議員

はどのようになってい る条例」の成果と状況 遠藤企画財政課長 現在、 3件の情

のではなく、地元の区長 のも含まれている。 報提供があり、 適用範囲外のもの、 人同士の問題を含むも **一職員が勝手に調べる** 個人情報の問題から 条例の 隣

決を。 からの申請としている。 0件の空き家の解 本町にある30

代理執行は難しい。 名の公表はできるが、 冢に対しては条例で氏 町として個人財産に 定本町長 管理不全の空き

うのは難しい。

町が補

金で対応するのも

ているので町独自で行

遠藤企画財政課長

税法上で決まっ

案ではあるが。 定本町長

200 ㎡以下は

踏み込めず、 い面がある。 法的に 難

> る。 課

税

価格

が 6

きな対応を。 件でも進むように前向 ることにも問題が 地の課税価格が高くな 空き家の解決が1 地にした場合、 家を撤去して更 あ 宅 あり、

問 か。 するチャンスではない になり、 岡山県が全国2位 移住希望地域で 空き家を活用

ないか。 体験ハウスを準備でき また、 移住、 定住 $\overline{\mathcal{O}}$

岡部副町長

賃貸に入居し、

遠藤企画財政課長 定住促進プロジ

て定住へ移るという希 住みよいところを探し

さまざまな制約が 倍にな 活体験ツアーを実施す 米南町と共同開催で生 16件の相談があった。 者の相談会に参加し、 エ クト 3 月 23 日、 東京、 ・チー ムが発足し 大阪で移住

地域活性化

即答できな

センターの

強化を

がかかるため、 ついては、 る調査が必要。 会を計画している。 体験ハウスの整備に 空き家見学や交流 多額な費用 24日に久 さらな

れた。 持続可能な予算編成を が減額されるため、 併後15年までに延長 目指す。

付税の獲得に全力を尽 **定本町長** 無駄を削減する 地 方交

美咲町の住み心地はいかがですか? (移住して来られたご家族)

11

大変期待して

お

きることはしたい。

町としても協力

以町財政収支 見通しは

後の財政運営は。 後から削減される、 地方交付税が2年 合併特例による

財政を健全化して、 遠藤企画財政課 しかし、交付税 合併特例債が合 町 さ

Ź

体 住

験ハウスを実現させ

た

いという住民の声も聞

望が多

1

その意味

か

と考える。

何家族かで1 (シェアハウ

らも体験ハウスは

有

は。

髙田住民課長

保育士の人数は

次のとおり。

年数を重視した採用が

用にあたり、経験

保育園の職員採

を持って取り組んでい 園に対し、当然、責任

できないか。

また、保育士の人数

質問

保育は美咲町

責任で

当然責任を持って 取り組む



染山朝子 議員



方針に変わりはないか。

として責任を持つ

保育に対し、

町

定本町長

公設である保育

	(人)				
園名	かめっこ	旭	柵原西	柵原東	藤原
正規	9	4	2	1	4
嘱託	19	6	2	2	4

用する。



子育て支援センターが 育についてはどうか。 拡充されたが、病児保 園の完成に伴い、

定本町長

病院などに付設



柵原西・東保育

はどうなるのか。



年次的な計画により採

ターができたこと 子育て支援セン

で、母子クラブの助成

定本町長 県と町からの



えている。 り組みがなされると考 き続き交付金事業の取 成であり、25年度も引 助



4月からピカピカの1年生だよ (柵原西保育園卒園式)

問

対応を

試行運行されると聞く 未定である。 なため、試行の時期は 結果がまだ届いていな い。結果の分析が必要 したアンケート調査の 具体的な内容は。 鈴鹿情報交通課長 ンド方式のバスが 24年11月に実施

取り巻く問題に

旭地域ではデマ

要件である。 設が整っていることが を一時的に保育する施 されたスペースで病児

> ように路線変更はでき 利便性が向上する 福祉巡回 Iバスの

ないか。

形成の基礎を養う重要

ついては、児童の人間

保育士の採用に

定本町長

な部分に関わるため、

検討課題の一

一つだ

が、

現状では難しい。

ら検討する。 共存にも配慮が必要 までの時間が長くかか 聞くことも必要。 現在の利用者の意見を 望があった場合、 で、さまざまな角度か ること、民間会社との の問題、出発から到着 応している。変更には、 変更が可能であれば対 鈴鹿情報交通課長 区長を通して要 道幅

先の検討が迫られる。 てできることはないか っているが、行政とし て柵原病院が役割を担 その場合の受けⅢとし は、その後の転院 入院中の患者に

定本町長

れからもやっていく。 できる範囲のことはこ ている。行政としても して大変お世話になっ 転院の受けⅢ

うかる産業を 考えよ

本町に適した 作物を開拓し



は1680人減少し、

不足している。

県北の

業においては担い手が

35%を超えた。 23年度末で高齢化率は また、労働人口の割 以来、本町の人口 -成17年の合併



小島洋征 議員

る形で進んでいる。

指摘のように、

的な傾向を先取りす

おいても、

県北では全

予測される。 化はさらに加速すると であり、 ており、 合も減少の一 入口は60歳代の約半分 20 代、 これから高齢 途を辿っ 30 代 の

である。 る農業の振興策が急務 用の確保、衰退してい 地域の活性化を図るに 企業誘致による雇

定本町長

についてどう考えるか。 とより「もうかる農業」 農業を守ることはも 定本町長

倉敷以外は人口減少傾 県内では岡

Щ

向にある。高齢化率に

こうした状況下で、 問

状で、 も捻出できないのが現 法だが、木材の搬出費 取り組むのも一つの方 は、 木質バイオマスに 国の政策がない 林業に関 し 7

いる。

用の確保について 企業の誘致と雇

り、 ر د ۲ 増えたとのことであ を手がける若い世代も 度である人・農地プラ なっていく。園芸作物 ンに取り組むのは困難 な状況と考えられる。 これからは、 -山間地域が新しい制 を中心とした農業に 可能な助成はして 園芸作

ているか。 ついてどのように考え する中で、 木材市場が低迷 林業に

定本町長

の考えは。

も難しい どこの自治体にとって 業の誘致については、 らない現実がある。企 業団地がなかなか埋ま 津山や久米の工 問題となって

場を増やす方向で取り おり、 域事務組合を組織して 美作地方全体で雇用 雇用につい 本町だけでなく ては、 広

体をつくり、

す

大好評のほんもろこ (岡山市西川緑道公園)

ーネは美咲町の

泉教育長

要がある。 ある。それ以外にもア た農業を考えていく必 を奨励品目に取り入れ スパラや花などの作物 産品として定着しつつ 園芸作物でピオ

15

開発する新たな取り組 みが必要ではない 交換や協議をする協議 の三者で定期的な情報 特産品を 生産者 ると考える。 きるとは言い切れな 例して事務的支援がで 支援はかなりできて で補っており、 上に不足があ 25年度は何人 まえることが プラスされる人数に比 緊急雇用 で、 各校の立 県からの 用 創出 しかし、 か配置 必 実情を踏 ħ 事務: 事業 ば町 加

行政、

農協、

定本町 間 地

輸出し、 農協が台湾にブドウを っては、 も力を入れる。 値を付け、販路拡大に 卸 番得策と考える。昨年 市場に適した付加 好評を得た。 大阪市場にも 園芸作物が 域にと 価

教育現場に ゆとり

嘱託職員を1人ずつ増 のため、 教諭の負担軽 各学校に

やせないか。

安心・安全に 暮らせる美咲町に

あらゆる方策で住んで 良かった美咲町を目指す



金谷髙子 議員

で生活環境が厳しい地 | 域の小さな自治体 本町は中山間 地

柵原中学校の

域である。人口が減少

高齢化率も35%以

問

耐震補強について

後3年が経過する。 柵原中学校は築

19、20年度に完了

中山間地域ならではの た、鳥獣被害対策など 題は山積みである。ま 手段や見守りなどの問 上になっている。 高齢者に関わる交通 は、 全体的に老朽が激しく で対応中の水道など、 さびが出るため浄水器 している。しかし、赤

る地域づくりとは。 安心・安全に暮らせ

問題もある。

毎年修繕費がかかって

いるのが現状である。

新しい振興計画に柵

定本町長 防災カメラの設 高齢者施策のほ

> 画は入っているか。 原中学校の建て替え計

っている。 よる安全対策なども行 置、美咲署との連携に

取り組みを続ける。 まちづくりを目指して 追究し、安心・安全の り・健康づくりを深く 25年度は、コロバン 人づくり・地域づく

に、町民にも周知を図 診の受診率向上を目標 大、特定検診とガン検 体操のさらなる普及拡 っていく。

泉教育長

してきた。 さまざまな問題に対処 るため、老朽化に伴う 生徒の安全・安心を守 財政の許す限り

設との関連や財政状況 るかどうかは、他の施 るが、実際に着手でき 改修が組み込まれてい 校舎と体育館の大規模 が大きく関わってくる。 振興計画の中には、

問 社会資本整備総

ないか。 早期の改修はでき 合交付金を活用

定本町長

安全面は最優先させる。 は、調査が必要だが、 金に適合するかどうか 学校改築が交付

放課後子ども 教室の実施を

問

放課後子ども教 柵原児童館では



老朽化が著しい柵原中学校

整えば実施したい。 各方面の調整をし、安 全対策を含めた条件 一定の時間をかけ、

泉教育長

施にあたり、送り迎え の問題も考慮に入れる を注いでいる。事業実 全・安心な登下校に力 学校側 は、

室を利用して、放課後 校でも放課後、 室」を行っている。 子ども教室を開催でき 余裕教

ないか。 語を取り入れた活動が 大切と考えるが。 む環境をつくることは ら継続して英語に親し あると聞く。保育園か 保育園で月2回 [の英

どもの居場所づくりや いる。 義な事業と位置付けて 豊かな体験や学びの場 を提供する、 山下生涯学習課長 安心・安全な子 大変有意

必要がある。

THE CALL

組合議会とは、 行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、 目的の事業を効率的に行う団体組織

勝英衛生施設組合

可決した。

久米老人ホーム組合 津山 市

(静香園

美咲 前 久米南、

案を審議、 算二千二百万円の4議 般会計予算一億七千五 算組み替え、25年度一 万円、特別会計補正予 計補正予算二百二十三 開催し、 十五万円、特別会計予 2月6日、 24年度 全会一致で 定例会を 般会

> 3議案を審議、 開催し、 六億五百七万円などの 計補正予算四百三十六 **力円、25年度予算三十** 2 月 12 日、 24年度組合会 定例会を

議案を審議、 六十八万円、 一百七十一万円、 全会一 25年度

を審議、

全会一致で可

般会計予算二千九百九 特別会計補正予算二百 万円、特別会計予算千 計補正予算六十万円、 24年度一 般会 の 4

央、 久米南、 開催 Ų

美咲町)

勝

致で可決した。 で可決した。

本年度から消防無線の改修が行われる津山圏域消防庁舎

(津山市、 鏡野、 奈 2 月 12 日、

定例会を

津山広域事務組合

会一致で可決した。 どの3議案を審議、 計補正予算三十三万

億二千二十万円な 25年度一般会計予

全

開催し、24年度一般会

2月6日、

定例会を

勝央、奈義、美咲町)

(美作市、西粟倉村)

美咲町 (津山市、 勝央、 久米南、 鏡野、 奈

津山地区農業 共済事務組合

2月12日、定例会を 米南、美咲町) (津山市、 鏡野、 久

開催し、 審議し、全会一致で可 計予算二億三千七百九 十七万円など2議案を 咲町) 2月15日、 25年度組合会 定例会を

> 会一致で可決した。 など2議案を審議、

津山圏域 衛生処理組合

25年度組合会計予算五 計補正予算組み替え、 開催し、 ど3議案を審議、 億七千二百三十万円な 致で可決した。 2 月 15 日、 咲町) 津山 24年度組合会 市 鏡野、 定例会を 美

岡山 原中部環境 施設組合

計補正予算五百二十八 億二千三百六十八万円 25年度一般会計予算四 の承認を求めること、 万円について専決処分 開催し、 3 月 26 日、 (真庭市、 24年度一般会 美咲町) 定例会を

西部衛生施設組合

(津山市、

鏡野、

美

決した。

計補正予算三千四百二

し、

24年度組合会

十七万円、25年度組合

津山 資源循環施設組合 圏域

会計予算三億二千四百

八十六万円など7議案

百五十二万円を審議 会計予算三十五億三千 可決した。25年度組合 を審議し、全会一致で 計補正予算七千百万円 開催し、 2 月 19 日、 (津山市、 賛成多数で可決。 勝央、 24年度組合会 美咲町) 定例会を

多年にわたり 地方自治の進展に尽力

議員活動を通じて、多年にわたり住民福祉と地方自治の進展に力を尽くし た功績が認められました。

平成21年4月から平成25年4月までの任期中の受賞者をご紹介します。



三船勝之議員

- ◇平成21年度 自治功労者表彰(岡山県町村議会議長会)
- ◇平成22年度 町村議会議員在職20年以上表彰(岡山県町村議会議長会)
- ◇平成23年度 功労表彰〈議員歴20年以上〉(美咲町長)
- ◇平成24年度 町村議会議員特別表彰(全国町村議会議長会)



染山朝子議員

◇平成22年度

町村議会議員在職15年以上表彰(全国町村議会議長会) 町村議会議員在職15年以上表彰(岡山県町村議会議長会)



甲賀市議会広報特別委員のみなさん

など、編集作 な見出しを たって熱心 の課題など を期して終 双方の発展 双方の発展 議会だより が行われた。 こと、 付けて

報特別委員8議員が甲賀市から市議会広 来町された。 ぞれの広報編集方法 資料をもとにそれ 2月5日に滋賀県

′るよう

章を 〇行政用語や 熟語などはは 熟語などはは なり、 内容がわか 紙り、

面

関潔な文わかり 使 難 わし

ようこそ議会へ

美咲町議会の議事内容については、告知放送で聞くこと、みさきネット ケーブルテレビで実況中継を見ることができます。

もちろん、直接議場でもご覧いただけます。

1度、議会を傍聴してみませんか?

3月定例会で傍聴にお越しいただいた皆さんの声をご紹介します。 (抜粋)

議員のみなさんが美咲町の発展のために、大変真摯に取り組んでいる様子を少しの時間であったが目の当たりにして改めて感銘を受けた。

町にとっては、大事な人口減少と定住者対策、農林業の推進、教育など、全国的にも課題となっている生活基盤づくりに対しての問題提起は、住民の1人として頼もしく感じた。

各質問の終了後に、激励の拍手などあると、 会議進行のメリハリになり、緊張感の中で温か い雰囲気づくりになるのではと感じた。 各議員の質問の言葉を、 正確に大きな声でお願いし たい。

また、答える側の担当者 の発言を明確にしてほしい。 質問内容が長いと感じる ことがあり、端的にお願い したい。

(傍聴5回目の男性)

後

(傍聴初めての男性)

ご不明な点がありましたら 美咲町議会事務局 0868-66-1128 へお尋ねください

(編集委員会

旧メンバ

l

りの 県下 てバ んに愛される議会だよ面の充実と町民の皆さ が規定されています。 すべき重要な責任とし 制定しまし る「議会基本条例」を されております。 る広報活動の一手段と 対する説明責任の実行 て情報の公開と町民に 4条には、 して議会だよりが発行 転 ン そのために必要とな 今後は、 私たち議会は、 美咲町議会も新たな 作成を新たに選出 充実と町民の皆さ トンを渡します。 バーを迎えて心機 節となり た広報委員に託 の町村では初とな スタートします。 るさとの がとうございまし さらなる誌 議会の果た ました。 その第 昨年



私たちが引き継ぎます